

部会の構成団体間での情報交換や連携を進めるにはどうしたらいいでしょうか？

アイデア紹介

行事の日程を調整しながら情報交換

～『各種団体行事計画調整会議』～

天間地区では、平成23年度から、1年に1回、地区で活動している団体が一同に集まり、次年度の行事の日程を調整する会議を開催しています。平成27年度にむけた調整会議は2月20日に行われ、幼稚園、保育園、小学校、中学校を含め28の団体の代表者が集まりました。

来年度に各団体で予定されている行事の日程を発表しあい、一覧表に書き込んでいきます。行事日程を調整するなかで、それぞれの団体の行事、活動を知り合う機会にもなっています。また、1つの行事に関係すると思われる他の団体に関わりの確認もしています。

この会議によって、地区で行われる年間の行事予定を各団体が把握でき、地区の行事が重ならないようになったことで、他の団体や住民がより多く参加するようになりました。また、他の団体に行事や活動を知らせることができ、団体同士のつながりづくりや個々の活動の充実にも役立っています。

調整会議でできた年間スケジュールは、各団体に配布され、1年間の行事カレンダーとして活用されています。

また、2ヶ月に一度、各団体の行事報告と今後の予定について話し合う団体連絡会議を年6回行っています。

手順は簡単！4ステップ

- ステップ1 協議会と全市イベントの日程の入ったスケジュール表を各団体に配布
- ステップ2 各団体は次年度の行事日程を決めて調整会議に参加
- ステップ3 調整会議で団体同士の日程を確認、調整
- ステップ4 完成版のスケジュールを作成して配布

メリット 効率的な調整ができる

- * 行事が重ならない
- * 参加者の取り合いにならない
- * 互いの活動を知り、理解することができる
- * 地区のなかで協調して地区行事を実施することができる

ポイント

- 子どもたちの日程を優先\(\◎◎◎)/
- ①幼稚園・保育園、小中学校の行事（入学式、運動会など）は優先されます。
- ②地区の祭りや中体連など異なる分野の行事とも関連づけて調整できます。

ついでの確認と協力依頼！

- ①分かる範囲で場所や時間も確認されています。
- ②“協調”できる団体には、協力依頼して予定を合わせてもらっています。

自分の団体の予定を持ち寄ることで短い時間で調整できます。

天間地区の場合、1時間弱で終了！



コブタ① レポート

地域の力こぶ増進計画・ニュースレター

KOBUTA REPORT

まちづくり行動計画をつくる の巻

何をすればいいのかな？



まちづくり行動計画づくりは、将来を考えながら3つの視点で地区を再確認する作業です。

✓ 施策体系づくり
～組織や個別の活動の点検

- ・組織図を理解する
- ・これまでの活動（記録）を確認する
- ・組織図に乗っ取って行動、活動をかえてみる



見える化

✓ 計画のカタチに整理する

発行 平成27年3月
 発行者 富士市市民部まちづくり課
 富士市永田町1丁目100番地（富士市役所3階）
 電話 0545-55-2887
 HP <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

このニュースレターでは、平成27年度完成を目標に、各地区で進められているまちづくり行動計画づくりの様子をお知らせするほか、協議会を運営していくうえでの課題に対応したヒントなどもご紹介していく予定です。それぞれの地区のまちづくり行動計画づくりや協議会活動の活性化にぜひお役立てください。

✓ 地区の自慢や課題、新たな活動、将来目標などの確認、発見、抽出

- ・地区の声を拾い集める方法を企画する
- ・集めた声を集約、編集する



まちづくり行動計画のつくりかた

これまでの話し合いを
行動計画づくりに生かす

まちづくり行動計画づくりを始めるにあたっては、各地区において、計画づくりを通じて得たいこと、作業手順やスケジュールについて検討し、企画シートを作成していただきました。26 地区それぞれに地区の特性をいかしたつくり方を実践しています。今回は、天間地区、田子浦地区の様子をご紹介します。

田子浦地区



田子浦地区では、部会のメンバーが集まり、話し合いながら行動計画づくりを行っています。

1月16日には、6つの部会ごとに、区長さんが進行役になって、それぞれの分野の問題点、課題などを話し合ってきました。



行動計画づくりに
を協議会活動に生かす

天間地区 まちづくり協議会会長加藤 崧さんにお話をうかがいました。

まちづくり行動計画は、効率的に前（まちづくり）へ進むための道筋を書き表すものとらえています。「天間地区まちづくり協議会の構成 22 団体が、みんなで考え、協力しあう体制をつくり、一枚岩になって同じ目標に向かって進めていこう。」という考えを共有し、これまでの活動を継承しながらみんなでまとめていきたいと思えます。

計画内容は、総合計画や都市計画マスタープランなど、これまでに策定された上位の計画との整合を図り、過去を否定せず、受け継いで、これらに沿った行動をしていこうという前提で進めていきます。これまで議論を重ねてつくりあげた計画を踏まえていくべきだと考えています。

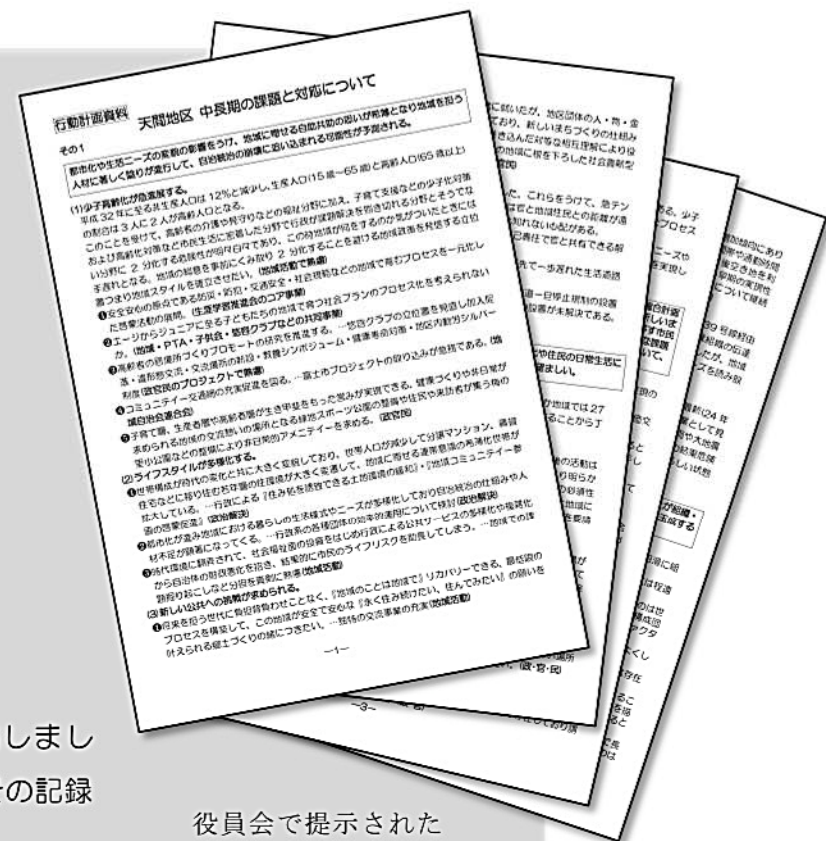
地区の課題については、協議会設立過程の



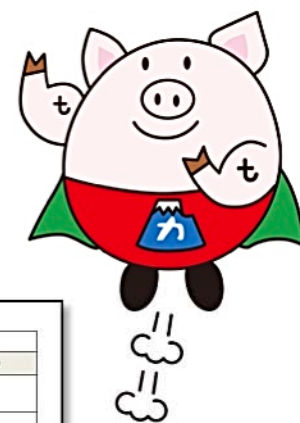
協議会の活動イメージなどを図で示しながら、機会あるごとに協議会の意義について説明し、理解を広げています。

なかで各団体と2年間みっちり議論しました。そこで出された意見を整理し、その記録をもとに行動計画を立てていきます。

まちづくりを進めていくのは行政だけではない。地域からも上げていかなければいけないと思います。



役員会で提示された
地区の課題



本日の進め方

6つのグループに分かれて意見交換

グループ（防災、安全、福祉、環境、健康、青少年）ごとに、それぞれの分野について、
●不安に思っている事
●日頃感じている事
●アイデア・工夫すべき事 など
何でもいので、意見を出し合しましょう

ステップ1：それぞれが
ポストイットに意見を書
きましょう

避難訓練を、
もっと充実し
た方がよい

各町内間で情
報交換が必要

防災グループを例として

今後は、この話し合い結果を踏まえて、キャッチフレーズや活動の目標や方針を考えていく予定です。

参加したメンバーからは、「行動計画づくりをきっかけに、改めて地域を見つめ直し、将来を考えてみんなで協議会活動を盛り上げていきたい。」との声がありました。



区分	No.	項目	解決に向けて(決壊・決壊の方向性、計画)
少子高齢化	1	【防災】 避難所は高齢者や障害者に対応できるか。	
	2	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	3	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	4	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	5	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	6	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
地域の課題・モットー	1	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	2	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	3	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	4	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
情報の共有・周知	1	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	2	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	3	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	4	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
防災・救済・支援	1	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	2	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	3	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	4	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
その他	1	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	2	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	3	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	
	4	【防災】 避難所が避難しにくい場所や狭い場所がある。	

出された意見を
まとめました。